

Vol.9

政府の機能強化と守備範囲



Graphic Recording


本データは懇談会における議論の可視化を目的として、富田 誠（東海大学専任講師）の指導のもと、早稲田大学大学院ジャーナリズムコースの学生と東海大学デザイン学課程の学生が制作しました。

制作 富田 誠（東海大学教養学部専任講師）
小澤 拓弥, 小阪 晶, 小山 拓哉, 永井 結子（東海大学 芸術学科 デザイン学課程）
加川 直央, 角野 雅美, 宮本 裕人（早稲田大学院 ジャーナリズムコース）


技術協力 株式会社 MetaMoJi （使用ソフト Share Anytime）

話題提供 の発言 Keypoint

当日のプレゼンデータは
公式ウェブサイトに掲載されています。

 白石賢司さん
公益財団法人地球環境センター

ブラックボックスだった政策立案過程を「見える化」
対症療法的な政策ではなく、原因への対処を
定性的評価した後定量的に政策を評価する
政策オプションのトレードオフに対して価値判断が必要
政策立案をオープンにすることで外部のプレイヤーと連携

 工藤卓哉さん
アクセント株式会社

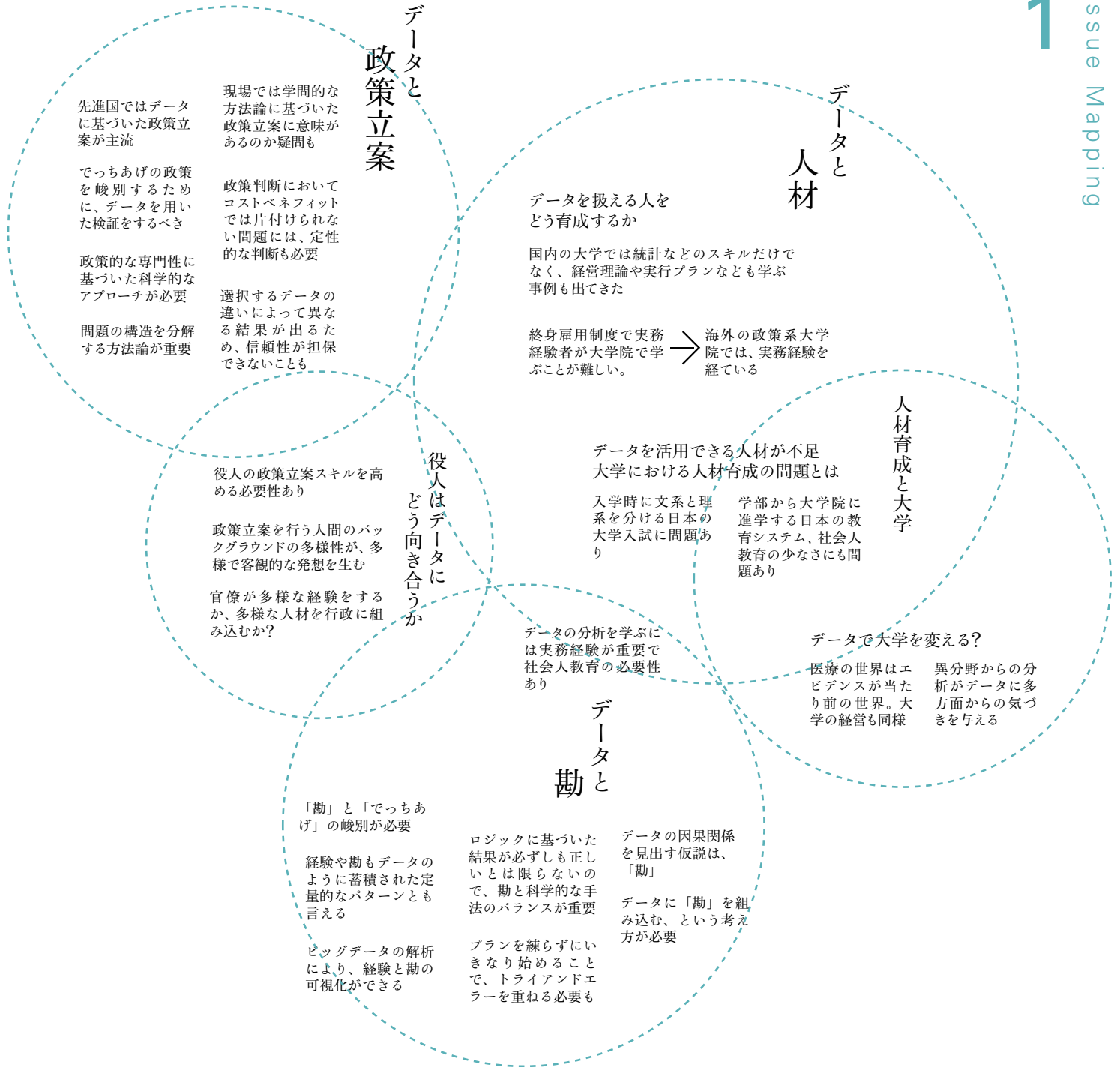
データに基づいて社会を変える

事例 データを用いた犯罪捜査導入で殺人発生数減少
定量的学校評価により教育改革&教育の質改善

限られた財源で公共サービスの質を保つため
データに基づいて資源を選択し集中させる

事例 データを用いた効率的な資源配分でニューヨーク市の教育を改革
医療を受けられない貧困層をターゲットして予防医療

経験と勘+科学的なアプローチ
で行政サービスの質をあげる



話題提供の発言 Keypoint

当日のプレゼンデータは
公式ウェブサイトに掲載されています。



佐藤 徹さん
高崎経済大教授

市民討議会によってサイレントマジョリティーの声を聞く

市民討議会のワークショップや発表などの
取り組みを通して施策の優先順位づけを行う

約半数の自治体が、施策の優先順位づけの
評価基準を示していない

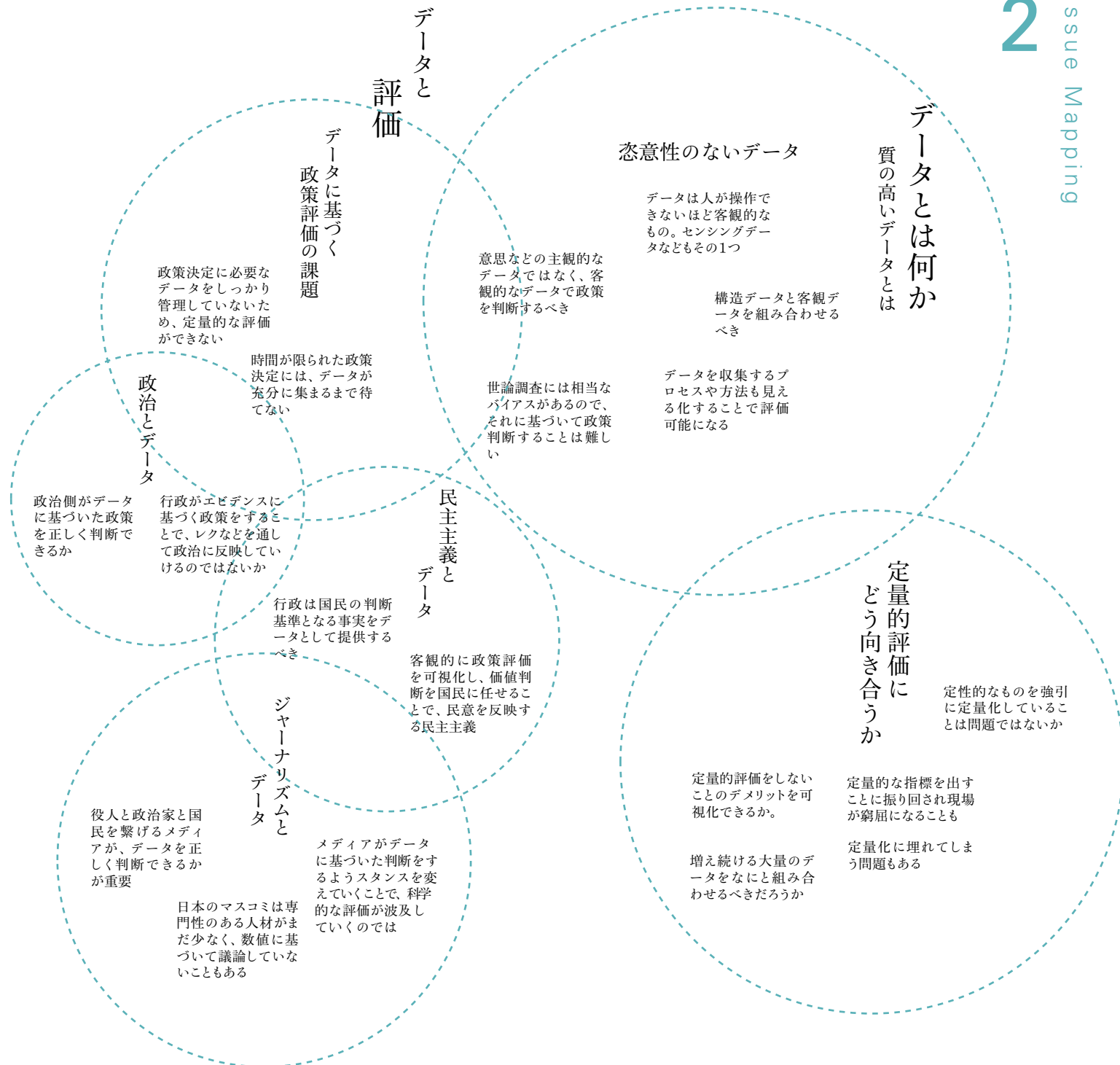
住民による施策の優先順位づけ

目的と手段の階層構造

事業全体ではなく施策の単位で評価していく

優先順位づけは誰が、どのように、どのタイミングで
なにを対象に行うのか考えるべき

優先順位づけは意思決定者に
合理的な判断材料を提供するもの



話題提供 の発言 Keypoint

当日のプレゼンターは
公式ウェブサイトに掲載されています。



高田英樹さん
財務省

イギリス官庁における多様性
2000年代前半の英国の財政状況は絶好調
なぜ英国は労働時間が短くても財政が好調なのか

多様性を重視する英国財務省

多様な人材による指摘や雇用を受け入れる懐の深さ
雇用の流動性が高い柔軟な勤務形態
女性の活用が進んでいる英国
主要ポストの女性でも、子育てのためにジョブシェア

柔軟な行政手法

トライアンドエラーを受け入れる行政
パブリックコメントやステークホルダーの意見を徹底活用
無謬性に囚われず、法律の修正が頻繁に試される
明確な理由に基づいたフレキシブルな判断を許す
設置法などの法律に基づいた硬い日本の行政
フレキシブルな判断を許す代わりに、明確な説明責任を課す
ルールを守る人にも判断の幅を持たせる

アウトプットではなくアウトカムの評価を重視
費用対効果と結果の便益を厳しく審査する行政

